

保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和4年1月17日 No.14
大阪府立寝屋川支援学校
校長 福井 浩平
准校長 阪本 友輝

3学期が始まり1週間が経ちました。年が明けてからは早いもので半月を過ぎています。

10月から年末までは新型コロナウイルス感染症の感染状況も落ち着いており、今だからできる取組みを進めてまいりました。また、ご家庭でも少しホッとする時間を過ごされていたのではないかと思います。

年明けからオミクロン株の急拡大により緊迫感が増しており、日々の行事等の計画に変更を余儀なくされる場面も考えられます。ですが、今回の局面に関しても恐れすぎることなく、正しい情報収集を行い正しく恐れて、基本的な感染症対策を徹底し、日々の教育活動を進めてまいります。

以前からお伝えしておりますが、リスクはどこに潜んでいるかわかりません。かかりたくてかかる人は誰もいません。感染予防に努めていても、感染してしまうこともあります。もし感染する方がいたとしても、その方やご家族の回復を願えるような学校でありたいと考えておりますので、ご理解ご協力をお願いします。

● 学校保健委員会

12月28日(火)に本校視聴覚教室において、本校学校医・眼科医・歯科医・薬剤師をお招きし、PTA役員の方も同席のもと「学校保健委員会」を開催しました。

本校の児童生徒の健康に関する実態や保健室の利用状況を共有すると共に、それぞれのDrから、各種の検診時における児童生徒の受検方法に関する助言をいただきました。

また、学校医からの「災害時における感染症対策」との内容に関するご講演により、本校の災害対策に関する示唆をいただきました。

災害が起こらないに越したことはありませんが、災害が発生した際の想定外を想定内にできるよう、児童生徒の安全確保に努めるべく、研鑽を重ねます。

● 換気扇の点検が完了しました

前回の校長室だよりでお伝えしておりました「換気扇落下事故に伴う安全点検」につきまして、全ての換気扇の点検が始業式までに完了しております。大変ご心配をおかけいたしました。現在は必要に応じて、安全に十分配慮しながら使用し、感染症対策に努めております。

今後につきましても、様々なことに心を配りながら、日々の教育活動を進めてまいります。

● 高等部から小学部へおもちゃのプレゼント

高等部職業の授業で製作したおもちゃを、小学部にプレゼントしました。

ボタン・ファスナー付けやミシンの作業を行うにあたり、「すぐにボタンが取れてしまうと悲しい」「より安全に」「相手が喜ぶ形や色合い」といったことを考えながら製作に取り組みました。

高等部のお兄さん・お姉さんからおもちゃをもらった児童の皆さんは「大切に使います」と感謝の気持ちを伝えました。

今回の取り組みを通して、小学部の児童には、「いただいたものを大切に使う」といった「感謝の気持ち」「物を大切にする気持ち」といった学びがあり、高等部の生徒には「自分のものではなく、人のために作る」「自分たちが作ったものによって、人が喜んでくれる」といった、他者貢献、自己有用感等の感情に触れ、将来につながる取組みとなりました。

